

第48号
2025年6月

共に生きる あどがわ

いつも
あなたのそばに

●発行者 安曇川民生委員児童委員協議会 ●連絡先 安曇川事務局 TEL 32-1131

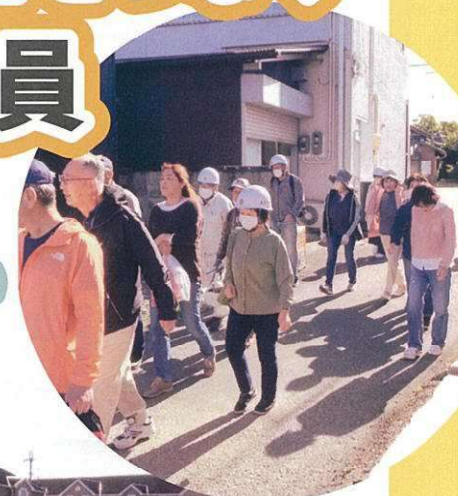
「いつも」と「もしも」をつなぐ 民生委員児童委員



災害発生時、地域の民生委員児童委員は「自身と家族の安全確保」を行ったのち、区・自治会や住民の皆様と共同して対応に当たります。そのような中、民生委員児童委員が直接、日頃から訪問などを行っている支援が必要な方のところへ駆けつけられるとは限りません。

そこで大切になるのが「いつも」に「もしも」を考えることです。「災害時にどのように避難していいかわからない」「非常備蓄品はどのようなものがあるか」などのお悩みがある場合、ぜひ民生委員児童委員と一緒に考えませんか。日頃の見守り活動を通じて、災害時の適切な対応などを共有できればと考えています。

「高齢だから避難所で迷惑をかけるかも…」「障がいがある家族がいるから…」等の理由で避難をあきらめるのではなく、平時から災害時の準備をすることで、ご自身と大切な人の命を守ることに繋がります。



【日頃から身につけておきたい物（持ち物）】

自分に関する情報

- ☐ 身元や連絡先を記したカード、
必要な医療情報を記したカード

状況を把握するため

- ☐ 携帯電話・携帯ラジオ
- ☐ 筆記用具、メモ帳



万が一に備えて

- ☐ 救急笛 ☐ 携帯用ライト
 - ☐ 飲料水 ☐ 食料・簡易食材（チョコレート等）
 - ☐ 救急用品セット、常備薬
 - ☐ 防災マップ・地図など
- （そのほか、マスク、雨具、冬場は使い捨てカイロなど）





児童福祉部会



マキノ児童館訪問研修

みなさんは、「児童館」を、ご存じですか？

マキノ児童館は、遊びや体験を通して、0歳から18歳未満の児童・生徒の健全育成をめざしています。また、館内には高島地域子育て支援センター「ほのぼの」があり、高島市内にお住まいの未就園児（おおむね3歳未満の幼児及び保護者）のための遊びや交流、子育て相談の場となっています。



今年度の登校の様子

小学生を対象とした様々な体験活動

- 生け花教室「お花に親しもう」
- 陶芸教室 ● 木工体験
- ふしぎな万華鏡を作ろう
- バルーンアートにチャレンジ
- ミニ夏祭り …… など

どれもみな、楽しそうな活動です。夏休みには、マキノ児童館だけでなく安曇川公民館、マキノ土に学ぶ里研修センターなどでもイベントをされているそうです。

◎ マキノ児童館は初めての訪問で、このような整った施設があることを知りました。

◎ 子どもの安全に配慮した手作りおもちゃに心打たれました。

◎ 職員のみなさんの手作りのおもちゃ、工夫があつてすてきでした。どれもかわいくて、アイデアが活かされたおもちゃばかりです。

***ぜひ、たくさんの子育て世代の方に利用していただきたいな…という思いを持ちました。**



人形劇団あっぱりけ公演

7年度も、6月6日はこぶねこども園をかわきりに、ふじなみこども園、古賀保育園、中央ユニバーサルこども園を訪問し、園児達と一緒に人形劇を通して交流の場を持ちました。

♪どんな色がすき？ 赤い色がすき 一番さきになくなるよ 赤いクレヨン ♪

子ども達とオープニングの歌を元気に歌って、いよいよ人形劇の始まりです。

私たち民生委員児童委員も子ども達と一緒に、人形劇やペープサート、なぞなぞ、手遊びなどを楽しみました。

0歳児さんから年長さんまで、お話の世界に浸り込んで、身を乗り出して楽しんでくれる様子を見て、私たちも思わずニコニコ。子ども達の素直な反応を見ているだけで、心が癒やされ、元気が出ます。

今後も、この活動を通して、子ども達が心豊かに成長してくれることを願います。



高齢者福祉部会



車椅子利用体験研修



スロープや段差を通る時乗っている人は恐怖心を感じるの、その都度声を掛けてゆっくりお世話することの大切さが分かりました。

家族の車椅子を押したことがあるが、怖い思いをさせていたと反省しました。

車椅子で自走するとき、わずか2 cmの段差でも乗り越えられないので、利用される方大変なことが理解出来ました。

体重をかけて、体全体を使わないと介助出来ない所が結構あります。



「ほほえみ工房」さんの展示もありました。(代表 日置さん)

身体が不自由な人に合わせた箸やスプーンなどをその人が使いやすいよう加工していただけます。



2024.11.11

フレイル予防とエンディングノート研修

加齢に伴い生活機能や予備能力が低下し、健康な状態と要介護状態になる前の中間の状態をフレイルといいます。

高島市医師会の松本会長をお迎えし、フレイル予防について研修をしました。



自分らしく生きるために、もしもの時のためにエンディングノートを用意しましょう

エンディングノートは自分で判断ができる間に希望や記録等を書き留めておくノート。

高島市には、「たかしまマイウェイノート」があります。あなたの思いを大切な人に伝えるためのものです。

関心のある人は、地域の民生委員児童委員や支所にお尋ね下さい。



障がい者福祉部会



大地作業所さん との共働活動

令和5年度に続き大地作業所の利用者
さんと一緒に活動しました。



共に汗を流し、活動を通
じて多くの気づきや
学びがありました。



視覚障がい者福祉協会 さんとの交流

草津市立水生植物公園みずの森に行きまし
た。その後、守山市民ホールで県の高等学
校総合文化祭の吹奏楽を鑑賞し、めんたい
パークによって帰ってきました。



お互いが楽しみながら交流
を深めることができました



令和7年度も意義ある活動を計画
いたします